

環境活動レポート

(対象期間：2016年6月～2017年5月)



丸順商事有限公司



発行日：2017年7月7日

1. 組織の概要

名称及び代表者名

丸順商事有限会社

代表取締役 矢部 要

所在地

本社事業所：東京都羽村市富士見平 2-1-14

瑞穂車庫：東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎 1307-4

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者：専務取締役 栗原 津巳 E-mail: t-kurihara@marujun-shoji.co.jp

担当者：総務経理部 木下 妙子 E-mail: k-taeko@marujun-shoji.co.jp

連絡先：042-554-2229 (TEL)

042-554-7889 (FAX)

事業内容

一般廃棄物・産業廃棄物及びリサイクル物の収集運搬業務

事業の規模

・一般廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市	1号	平成28年4月1日	平成30年3月31日
青梅市	25号	平成28年4月1日	平成30年3月31日
福生市	2708号	平成27年9月16日	平成29年9月15日
瑞穂町	11-17号	平成28年3月15日	平成30年3月14日
昭島市	117号	平成28年4月1日	平成30年3月31日
武蔵村山市	13号	平成28年1月20日	平成30年1月19日
入間市	31号	平成28年4月1日	平成30年3月31日

・産業廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号・許可年月日・有効年月日	許可品目
東京都	第13-10-032171号 平成27年8月4日 有効：平成32年8月3日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（以上11種類）
神奈川県	第01406032171号 平成25年10月10日 有効：平成30年9月10日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず、がれき類（以上10種類）
埼玉県	第01102032171号 平成27年11月18日 有効：平成32年11月8日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上10種類）

・収集運搬車両及び営業車両

形式	積載重量	燃料	保有台数
塵芥車	3 t	ディーゼル	8 台
ダンプ車	2 t	ディーゼル	1 台
平ボデー車 (キャブオーバー)	4 t	ディーゼル	1 台
	2 t	ディーゼル	3 台
	1 t	ガソリン	1 台
	0.35 t	ガソリン	1 台
バン	2 t	ディーゼル	1 台
脱着装置付コンテナ 専用車	4 t	ディーゼル	3 台
	3 t	ディーゼル	1 台
糞尿車	3 t	ディーゼル	1 台
粉粒体運搬車	10 t	ディーゼル	1 台
営業車	--	ガソリン	4 台
合 計			26 台

・収集運搬量（2016年6月～2017年5月）

一般廃棄物 : 1,299 t

産業廃棄物 : 3,067 t

・売上額（2016年6月～2017年5月）

40,200 万円

・設立年月日

昭和 42 年 11 月 1 日

・資本金

3,000 万円

・従業員数

29 名

・積替え保管施設

本社：積替保管面積：498 m² 上限量 8.0 m³

・事業年度

6 月 1 日～5 月 31 日

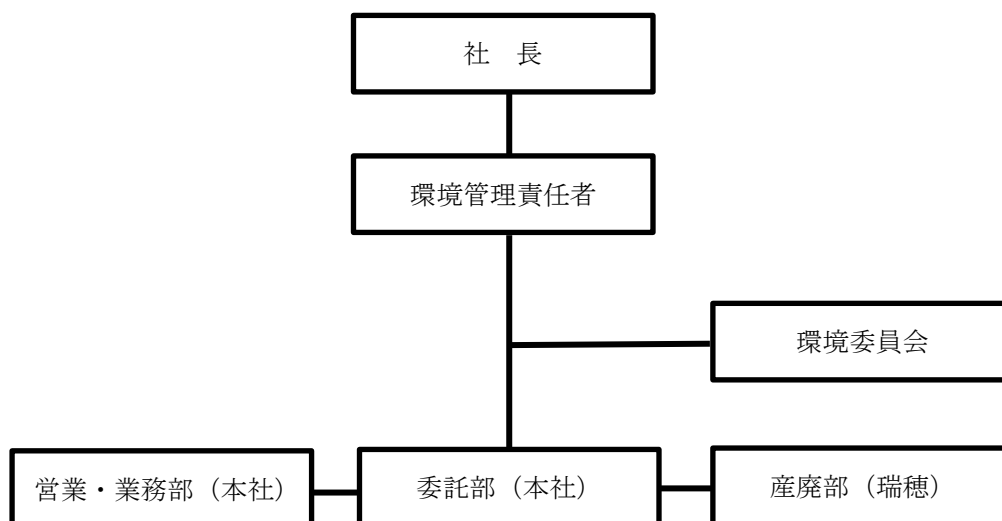
・化学物質の取扱いはありません

2. 対象範囲

登録組織名 : 丸順商事有限会社

関連事業所 : 瑞穂車庫

丸順商事有限会社 環境システム組織図



役割と権限

代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を策定する。 EA21 の実行に必要な資源 (人、物、金) を用意する。 環境管理責任者を任命する。 EA21 の全体的な取り組み状況を評価し、見直し必要な指示を与える。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システム要求事項を確立し、実施し、維持することを確実にする 環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する。
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントに関する全社で検討する場とする。社長を議長とし、毎月開催する。メンバーは社長、環境管理責任者、環境事務局及び各部門長とし、必要に応じて社長及び環境管理責任者が指名したものとする。環境委員会は経営会議と兼ねて実施する。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の環境目標、活動計画を策定、各部門の環境マネジメントシステムの実行の総括、各部門の固有の役割を持つ。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境目標、活動計画の実施。 環境に関する責任あるやり方で業務の実施。 問題があつた場合、部門責任者へ報告。

3. 環境方針

{ 基本理念 }

丸順商事有限会社は、廃棄物収集運搬業(一般・産業)・資源物(有価物)収集運搬業を通して、環境・安全を第一に考え、この美しい自然と歴史を次世代へ継承する環境保全活動に取り組みます。

{ 行動指針 }

1. 当社事業の特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。

- ①電力・収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②節水の徹底
- ③自社廃棄物の減量
- ④環境に配慮した事務用品、消耗品の購入
- ⑤地元地域・所属組織等の環境活動への積極的な参加
- ⑥顧客サービスの向上

上記について環境目標・活動計画を定め、定期的な見直しを実施し、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束した事を遵守します。

3. この環境方針は全従業員に周知する。

制定日：2013年 1月 11日

丸順商事有限会社

代表取締役 矢部 要

4. 環境目標と実績

2016年度の目標と実績

環境目標項目	単位	2015年度 実績(基準)	2016年度 目標	2016年度 実績	達成率	評価
電力の使用量削減	(kWh)	14,428	14,284	13,820	103.4%	○
ガソリン使用の削減	(L)	4,687	4,664 5,145に変更	5,614	91.6%	×
軽油使用の削減	(L)	51,382	51,125	51,216	99.8%	△
CNG使用の削減	(Nm ³)	3,016	2,111	2,158	97.8%	△
灯油使用の削減	(L)	757	749	1,225	61.1%	×
総CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	161,617	159,678 159,816に変更	162,332	98.5%	△
水使用量の削減	(m ³)	517	465	356	130.6%	◎
自社廃棄物の削減	(kg)	2,319	2,296	2,066	111.1%	◎
グリーン購入促進	品目	多品目購入	多品目購入	多品目購入	--	○
地域活動への 取組、参加	回数	7	8	8	100.0%	○
リサイクル化の推進	件	32	37	58	156.8%	◎
回収漏れ件数の削減	件	38	36	37	97.3%	△
* 2015年度=2015年6月~2016年5月						
* 評価: ◎=目標以上の達成、○=目標達成 △=目標値から±5%以内 ×=目標未達						
* 平成26年度 東京電力排出係数(0.505kg-CO ₂ /kwh)使用						

2017年～2018年度の目標

環境目標項目	単位	2015年度 実績(基準)	2016年度 実績	2017年度 目標	2018年度 目標
電力の使用量削減	(kWh)	14,428	13,820	14,139 (2%削減)	13,995 (3%削減)
ガソリン使用の削減	(L)	4,687	5,614	5,558 *(1%削減)	5,530 *(1.5%削減)
軽油使用の削減	(L)	51,382	51,216	50,868 (1%削減)	50,611 (1.5%削減)
CNG使用の削減	(Nm ³)	3,016	2,158	---	---
灯油使用の削減	(L)	757	1,225	1,213 *(1%削減)	1,207 *(1.5%削減)
総CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	161,617	162,332	156,584 *(3.5%削減)	155,758 *(4%削減)
水使用量の削減	(m ³)	517	356	460 (11%削減)	455 (12%削減)
自社廃棄物の削減	(kg)	2,319	2,066	2,273 (2%削減)	2,249 (3%削減)
グリーン購入促進	品目	多品目購入	多品目購入	多品目購入	多品目購入
地域活動への 取組、参加	回数	7	8	9 (2回増)	10 (3回増)
リサイクル化の推進	件	32	58	42 (10回増)	47 (15回増)
回収漏れ件数の削減	件	38	37	34 (4件削減)	32 (6件削減)
* 2015年度=2015年6月～2016年5月					
* 赤字は、目標変更したもの。(削減は2016年実績に対するものである)					
* 平成26年度 東京電力排出係数(0.505kg-CO ₂ /kwh)使用					

5. 環境活動計画

主項目		活動計画	部門別
エネルギー消費削減	電力使用量の削減	①エアコンの適正温度管理を実施する。(冷房28℃・暖房20℃) ②定期的にフィルター清掃実施する。 ③不在時の消灯と休憩時間消灯の徹底管理を実施する。 ④稼動していない機械電源OFFの徹底。	全部署
		①パソコンOA機器等、省エネモードに切り替え実施する。 ②クービズの徹底。(5月～10月) ③ブラインドの調整による日射の遮断及び自然光の確保による照明効果の取り入れ実施する。	事務
	ガソリン・軽油・CNG・LPG燃料の使用量の削減	①アイドリングストップ実施する。 ②急発進、急停止、しない運転を実施する。 ③不要な荷物は積まない。 ④適切な配車を行い、無駄な動きを行わない。	委託産廃
	灯油使用量の削減	①室内温度16℃から20℃を目安として、温度管理を実施する。 ②不在時の消火の徹底管理。 ③ウォームビズの徹底。(12月～3月)	全部署
個別計画	水使用量の削減	①水漏れの定期確認。(水道水の栓を確認) ②洗車時の節水(節水シャワーの使用等)	委託産廃
		①台所及びトイレ使用に対しての水管理を徹底を実施する。	全部署
	自社排出廃棄物の削減	①廃棄していた紙類を資源とする。 ②外出先で発生させたごみ(コンビニ等)を社内に持ち込まない。 ③機密書類はシュレッダーにかける。 ④ダンボールなど繰り返し再利用する。	全部署
	グリーン購入の促進	①エコマーク認定品の購入に努めます。	事務
	地域活動への取組・参加	①会社周辺清掃を定期的実施する。 ②地元主催の催し物の参加。	委託産廃
	リサイクル化の推進	①現顧客及び新規顧客へ訪問し、顧客より排出される廃棄物からリサイクルできるものを提案する。	営業
	回収漏れ件数の削減	①戸別収集時に急がず、1件ずつ確認しながら回収を行う。	委託
1.部門別の環境活動計画を理解する。			
2.環境活動計画を実施するにあたり、詳細は存在する規定書を基に、活動を実施する。			

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標	具体的行動計画	実施状況	取組結果と評価
電力使用量の削減	エアコンの温度設定管理	○	今年度もエアコンの温度管理・フィルター清掃等を前年同期同様、徹底して行いました。(全部署) 不在時の消灯も、徹底されてました。 PC、OA機器の節電もしっかりと行っていました。 節電に対する作業者意識は非常に高く、今後も同様に徹底して行きたい。 但し、夏場に関しては、無理して節電してしまうと熱中症になってしまうので注意した。 冬場の暖房は灯油を主に使用しました。
	エアコンのフィルターの掃除	○	
	不在時、休憩時間の消灯	○	
	稼働していない機械電源のOFF	○	
	PC、OA機器等の節電	○	
	クールビズの徹底	○	
	日射の遮断実施	○	
燃料(ガソリン、軽油、CNG、LPG)の使用量削減	アイドリングストップの実施	○	アイドリングストップ、急発進急停止等は日々の朝礼などで全運転者に徹底させており、実施もされています。 無駄な走りをしないために、部門長は適切な配車を心がけており、今年度も実施されておりました。 但し、忙しくなると急発進したり、スピードを出しすぎる傾向があるので、部門長を通じて注意するように指示しました。また、4月より全車にデジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入したので管理していく。
	急発進急停止をしない	○	
	不要な荷物を積まない	○	
	適切な配車の実施	○	
灯油使用量の削減	温度管理の徹底	△	今期も各部署ともに温度管理の徹底をしましたが、 たまに使用していない部屋でもそのまま使用していたこともあった。 部屋から退出する際には、消化することを再徹底しました。 ウォームビズは徹底されていました。
	不在時の消火徹底	○	
	ウォームビズの徹底	○	
水使用量の削減	手洗い時の節水	○	節水用のホーズノズルを使用して洗車などを実施した。 作業者の節水意識が高くなってきた。
	洗車時の節水	○	
	台所、トイレ使用管理の徹底	○	
自社排出廃棄物の削減	紙類の再利用	○	紙類の再利用、シュレッター化(事務所)は前年同期同様、徹底されていました。 作業者が外で購入した食べ物、飲み物を社内に持ち帰り廃棄しているケースも減少してきた。再度徹底していきたい。 事務所では書類保管としてダンボールの再利用を行っています。
	外で発生されたごみを持ち込まない	○	
	機密書類のシュレッター化	○	
	ダンボールの再利用	○	
グリーン購入の促進	エコマーク認定品の購入	○	事務用品を購入する際には、エコマークのついたものを買入しています。
地域活動への取組・参加	会社周辺清掃	×	会社周辺清掃は、 今年度も本社・瑞穂車庫で共に2回ずつ行った。 計画を立てればもっと出来ると思います。 地元のイベントには積極的に参加している。
	地元主催のイベント参加	○	
リサイクル化の推進	現顧客及び新規顧客へ訪問リサイクル提案	○	今期は、営業部を増員して提案件数の増大が期待されましたが、思うように進まなかった。(現場の手伝いが多かった。)
回収漏れ件数の削減	戸別収集時の回収で急がず1件ずつ確認	△	各作業者が急がず、1件ずつ確認しながら収集していたが、地区によっては回収漏れが多かった為、教育をおこなった。

* 実施状況の評価基準 : ○=出来ている、△=ある程度出来ているがもう少し、×=出来ていない

* 次年度も今年度に引き続き上記内容で取組んでいきます。

地域活動及び会社周辺清掃状況

羽村市マナーアップキャンペーン

羽村駅前でタバコ等のポイ捨て禁止におけるティッシュを配布
羽村市長も積極的に参加



羽村市産業祭

塵芥車を展示、会社の営業もアピールしています。



会社周辺清掃

本社は、会社近くの公園に出向き清掃、瑞穂車庫は会社前の道路のゴミ拾いを実施。



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規等は、廃掃法・消防法・道路交通法・都条例・市条例等ありますがの遵守状況を確認した結果、違反はありません。

また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。訴訟についてもありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1) 全体の取組状況及び評価結果

No.	項目	評価結果
1	環境関連法規制等一覧表及び遵守状況のチェック結果	小型家電リサイクル法、フロン排出抑制法を追加
2	環境目標の達成度	<p>電力は削減できたが、その代わりに灯油の使用量が増加してしまった。冬場の暖房を灯油に切り替えたことが原因のため、今後は目標を変更して取り組んでいきたい。</p> <p>燃料（特にガソリン）の消費量が増えてしまっていますが、原因が明確（営業活動の拡大）になっております。</p> <p>水使用量は節水徹底した成果の為、大きく削減された。</p> <p>自社廃棄物については年々減少しています。</p> <p>グリーン購入、地域活動の参加も積極的に行っています。</p> <p>リサイクル化の推進は上期に集中して実施したので達成、回収漏れ件数の削減も目標達成できませんでした。</p>
3	環境活動計画の実施状況	<p>各従業員が環境に関する意識が高まり、実施については良好と判断致します。</p> <p>会社周辺清掃を本社、瑞穂ともに計画を立ててもう少し多くできると思う。</p>
4	問題点の是正・予防処置の状況	達成できなかった項目の原因は全て明確になっている。
5	外部からの苦情の有無	2件ありましたが、すぐに対応・改善を行いました。再発の無いように全従業員に徹底しました。
6	緊急事態の訓練結果	<p>本社：8月11日実施 特に問題なし。</p> <p>瑞穂：11月10日実施 特に問題なし。</p>
7	経営状況の変更	<p>取締役2名追加</p> <p>富永健介・木下允</p>

2) 変更の必要性の有無

No.	項目	変更の必要性
1	環境方針	無し
2	環境目標	有り ガソリンの使用量を変更 2017年度以降の目標値も見直し (ガソリン・灯油)
3	環境活動計画	無し
4	環境経営システム	無し

3) 代表者による全体の評価

環境目標に対しては、ガソリン・灯油の消費増加が目立った。燃料消費は売上を伸ばそうとすると増加するのはやむを得ないが、引き続きエコドライブに心がけてほしい。

他の項目については、ほぼ達成できていました。

2017年4月より全車（事業用トラック）にデジタコ・ドライブレコーダーを装着した為、よりいっそうの安全運転・エコドライブを期待したい。

当社もエコアクション21取得から4年が経ちます。全従業員に環境意識を高く持ってもらうのは難しいですが、当社では8割以上の従業員に浸透してきています。

今年度は、従業員教育にも力を入れてがんばりたい。